評価対象年度	令和6	年度		事務事第	業マネージメ	ントシート	作成日 令和7 年 04	月 16 日					
事務事業名	スポーツ	推進委員	活動事業			担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係						
政策名	1 [7]	1 「人づくり」~豊かなこころアップ!~					合計画重点事業) 🔲 総新(総合計画新規事業)						
施策名	6 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					□ 戦拡(総合戦略拡充事業) □ 戦新(総合戦略新規事業)							
関連個別計画						+ *** ***	□ 単年度のみ □ □ 単年度のみ □ □ □ 単年度のみ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						
法令根拠 スポーツ基本法(第32条)、真阿市スポーツ推進委員に関する規則						事業期間	□ 毎年度実施(開始年度 昭和44 年度~)						
予算科目	1.一般会計		10.教育費	5保健体育費	1保健体育総務		期間限定複数年度(年度~	年度)					
予算科目							•						
予算科目		i											
事業概要	平成23年度 スポーツ推進 スポーツ推進 ことがスポー	日本4月1日真岡市体育指導委員に関する規則を制定、委員30名以内、任期は2年(R6.4.4.1~R8.3.31)となる。 年度に名称が、体育指導委員からスポーツ推進委員に変更となる。 推進委員は、スポーツ振興のため、住民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導、助言を行うものとする。 推進委員の各種研修会・講習会・大会等への参加派遣。スポーツの実技指導、スポーツ活動促進のために組織の育成を図ること、また様々なスポーツ行事または事業に関し協力する ポーツ推進委員の主な職務である。 回あたり8,500円) R5:1,853千円 R6:1,853千円 増減なし											
				指導委員からスポーツ推進委員に変更となる。 - 小振興のため、住民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導、助言を行うものとする。 - ・講習会・大会等への参加派遣。スポーツの実技指導、スポーツ活動促進のために組織の育成を図ること、また様々なスポーツ行事または事業に関し協力する - 職務である。 - 日									
1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標 													
① 手段(主な活動) ④活動指標				④活動	指標(事務事業の活動:	標(事務事業の活動量を表す指標)の推移							

① 手段(主	Eな活動	b)			④活動指	標(事務事業の活動量を表す	指標)の推移						
6年度実績						名称	単	単位 3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見	
定例・月例会議(6回) ニュースポーツの普及・講習会の実施 芳賀地区スポーツ・レクリエーション祭 真岡井頭マラソン大会競技補助 はが路ふれあいマラソン競技補助 各種スポーツの研修会・講習会・教室等の参加					ア会議	、研修、講習会等の回数		17	23	33	45		
					イ報酬	l 		918	986	1,343	1,420	1,85	
7年度計画 前年度と同様				Þ									
				I									
					オ								
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				⑤対象指	標(対象の大きさを表す指標 名称		单位 3 年度(実績)	4 年度(宝績)	F 年度(宝績)	c 年度(宝績)	7 年度/目		
スポーツ推進委員					スポーツ推進委員数			30 平皮(天根)	30	30 年度(天順)	29	7 平皮(元	
				1									
				р									
				I									
				オ									
		によって、対象をどう変える			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度			度)の推移 単位 3 年度(実績) 4 年度(実績) 5 年度(実績) 6 年度(実績) 7 年度(実績) 7 年度(実績) 8 年度(実持) 8 年度(実					
スポーツ推進委員が職務を行う上での資質の向上とスポーツに関する行事 等への協力参加を高め、真岡市のスポーツ振興を図る。					ア会議	名称 、研修、講習会等の延べ参加者数		219	233	323	384	7 牛皮(元	
					1								
					р								
					Ι								
					オ								
2) 総事業費の推移 単位 (3 年度	(実績)	4 年度(実績)	5 年	度(実績)	6 年度	(実績)	7 年	度(見込)			
.n. 事 原		国庫支出金	千円		0	0		0		0			
	財・	県支出金	千円		0	0		0		0			
事 業 量	源 内 訳	地方債 	千円		0	0		0		0			
_	"	その他	千円	0		0		0		0		C	
1	1	一般財源	千円	1,119		1,152		2,409		2,124		2,37	
			'''										

1,119

事業費計(A)

千円

1,152

2,409

2,124

2,379

*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価 2. 1 次評価の部 ①政策体系との整合性 □ 見直し余地はない □ 見直し余地がある 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か? (評価理由) 市のスポーツ振興に結び付く。 目的妥当性評価 ②公共関与の妥当性 □ 見直し余地はない □ 見直し余地がある 市が事業に関与する必要があるか? (評価理由) スポーツ基本法に基づき、スポーツの指導を行っている。 ③対象と意図の妥当性 □ 対象・意図を見直す必要はない ■ 対象を見直す必要がある ■ 意図を見直す必要がある ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か? (評価理由) ・対象を限定・追加する必要があるか? 生涯スポーツの振興を図っている。 ・意図を限定・追加する必要があるか? ④成果の向上余地 □ 向上余地はない □ 向上余地がある ・成果を向上させる余地はあるかどうか?ない場合の理由は適切か? (評価理由) ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? 市民の運動習慣の定着を目指し、スポーツ振興のため、スポーツ推進委員の研修会、講習会等の活動に積極的 に参加している。 ・何が原因で成果向上が期待できないのか? **有効性評価** ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ■ 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名: ・類似事業はないか、統合や連携はできないか? ■ 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名: ■ 類似事業はない (評価理由) ⑥事業費の削減余地 □ 削減余地がない □ 削減余地がある ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか? (評価理由) ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか? 報償費のみであり、これ以上の削減はできない。 活動のための必要最小限の経費である。 効率性評価 3. 改革・改善方向の部 (1) 改革の方向性(改革案・実行計画) (3) 改革・改善による期待成果 □ 見直し(□:目的妥当性 □:有効性 □:効率性) □ 統合 ■ 継続 市民ひとり1スポーツの推進に向け、ニュースポーツの普及を目指し市民が多く集うイベント等へ出向くアウトリーチ事業への転換を進めてい 維持 増加 削減 向上 成果 維持 (2) 課題、課題の克服の方向性 委員の高齢化と人材不足が課題であり、令和8年4月の委員改選に向けて検討を行う。 低下 4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性) □ 記述説明不足(説明責任不充分) □ 評価内容が客観性を欠く □ 評価内容は客観的と言える (1) 1次評価結果の客観性と出来具合 (2) 2 次評価者としての評価結果 (5) 改革・改善による期待成果 ①目的妥当性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり ②有効性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり □ 適切 □ 見直し余地あり コスト 維持 増加 削減 (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 (4) その他 2 次評価会議で指摘された事項 向上 □ 廃止 □ 休止 □ 目的絞込み □ 目的拡充 成果 維持 □ 事業統廃合 □ 事業のやり方改善 低下 □ 予算削減 □ 予算増大 □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)